

おでかけガイドマップ

おすすめの遺跡・史跡/ミュージアム

瑞穂台地をあるく②

所要時間：3時間（2023年11月18日踏査）

コース概要：

瑞穂区役所駅→高田古墳跡地（高蔵高校内）

→八高古墳・剣ヶ森（名古屋市立大学）

→→八幡山古墳→一本松古墳（名古屋工業大学）

→白山神社古墳→新栄駅/千種駅

④一本松古墳

名古屋工業大学のキャンパス内に所在しています。現在は墳長36m・高さ8mの円墳だが、築造当時は墳長70~80mで低い前方部をもつ前方後円墳であったと考えられています。土師質の円筒埴輪や朝顔形埴輪が出土しており、5世紀中ごろに位置づけられています。周辺には八幡山古墳、馬走塚古墳、志よう入塚古墳、茶臼山古墳、白山神社古墳などがあります。



一本松古墳（名古屋工業大学キャンパス内）



八幡山古墳

②八高古墳/剣ヶ森

4世紀後半~5世紀前半の築造で、現存長約45mであるが、本来は墳丘長約70m、後円部直径約45mの前方後円墳であったとされています。高田古墳に先行すると考えられています。旧制第八高等学校構内にあったことから「八高古墳」と呼ばれています。現在は名古屋市立大学滝子キャンパス内となっています。八高古墳の北150m（同キャンパス内）には八高2号墳（通称「剣ヶ森」）が残存しています。



剣ヶ森（名古屋市立大学キャンパス内）



八高古墳（名古屋市立大学キャンパス内）

①高田古墳跡地

瑞穂台地の西縁に立地します。現在墳丘は削平されて姿は残っていません。5世紀前半ごろの前方後円墳と考えられています。旧制第五中学校構内にあったため「五中山古墳」とも呼ばれています。周辺に小型の円墳（高田2~5号墳）がありましたが、現在は5号墳のみ、瑞穂ヶ丘中学校構内に残存しています。

⑤白山神社古墳



白山神社古墳

墳形は前方後円墳で、現在は墳丘全体が白山神社境内となっていて、発掘調査は行われていないが、全長約70m、高さが約6mという記録が残されています。表面採集で円筒埴輪の埴輪片などが見つかっています。築造年代は5世紀中頃~後半と考えられています。

⑥白山神社古墳

現在、吹上公園・吹上ホールとなっているこの一帯には、茶臼山古墳/馬走塚古墳/志よう入塚古墳などの全長50mを超える規模の円墳、帆立貝形前方後円墳などがありました。

③八幡山古墳

5世紀前半~中頃の直径70m以上の円墳で、東海地方最大の規模を誇り、全国でも5番目の大きさです。名古屋市内にあって、戦火と開発を免れた保存状態のより数少ない古墳の一つであり、1931（昭和6）年に国史跡に指定されています。発掘調査は行われていないが、二段築成で葺石があり、周濠があったと報告されています。